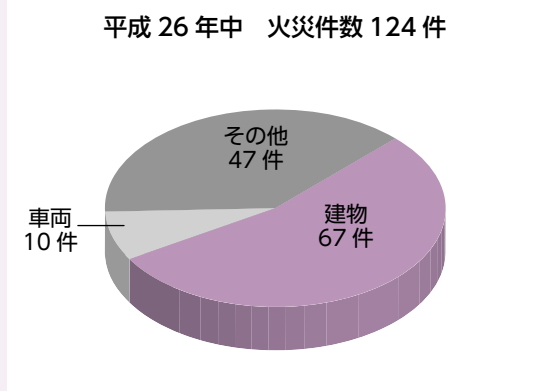


火災件数・救急件数の状況 平成26年1～12月

昨年の富士見市・ふじみ野市・三芳町で発生した火災件数は124件で、平成25年と比較して36件増加し、火災による死者2人、負傷者13人が発生し多くの財産が失われています。救急件数は、10,910件で、平成25年と比較して404件増加しました。

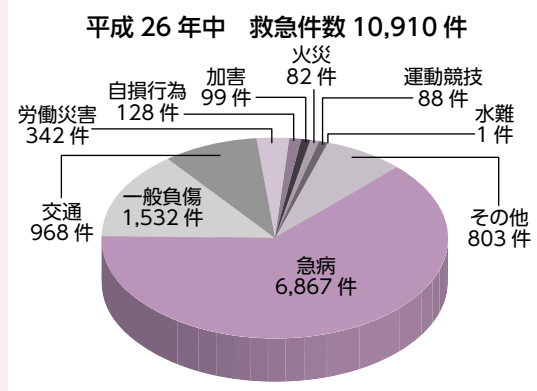


▶主な出火原因

放火、放火の疑い、電気などの配線、コンロ(調理器具)

▶住宅火災警報器設置状況

- ・平成25年中(火災時の設置状況) 専用住宅27件中15件が設置。
- ・平成26年中(火災時の設置状況) 専用住宅33件中24件が設置。



▶主な救急増加要因

高齢の傷病者の増加、急病の傷病者の増加、転院搬送の増加

▶高齢の傷病者搬送数

平成25年中 4,566人
平成26年中 4,972人(406人増加)

▶軽症の搬送者数

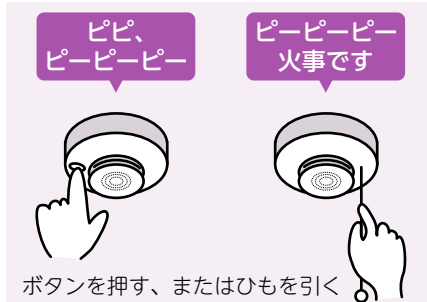
平成25年中 4,778人
平成26年中 5,117人(339人増加)

住宅用火災警報器の点検をしていますか

住宅用火災警報器が正しく機能するためには日ごろの維持管理が大切です。「いざ」というときのために以下の内容に注意しましょう。

①電池切れに注意

定期的に点検ボタンを押すなどの作動確認をしましょう。
※正常な場合はメッセージや警報音が鳴ります(警報音は製品によって異なります)。



②お手入れ

ホコリなどにより誤操作を起こす場合がありますので、定期的に掃除をしましょう。

③10年を目安に交換

住宅用火災警報器は古くなると電子部品の寿命や電池切れなどで、火災を感知しなくなることがあります。



※点検方法など、詳しくは取扱説明書をご確認ください。

住宅用火災警報器を購入するには

現在、住宅用火災警報器を設置されていない場合は、被害を最小限に食い止め、大切な命と財産を守るために必ず設置しましょう。警報器は、家電量販店・電器店・ホームセンターなどで販売しています。

購入時には、右記のいずれかの品質保証マークが付いているものを選びましょう。(※表示が変わります。「NSマーク」は平成31年3月31日までの販売が認められているものです。)

消防署では本体の取り付け支援を行っています。詳しくはお問い合わせください。

問合せ/ 消防本部予防課 ☎049-261-6007



FAX119番通報のながれ

電話での119番通報が困難な場合、ファクシミリによる119番通報ができます

問合せ/消防本部指揮統制課 ☎049-261-6031



① FAX119番通報用紙に必要事項を記入してください

- ・FAX119番通報用紙は、最寄りの消防署に用意しています。
- ・FAX119番通報用紙は、入間東部地区消防組合ホームページからもダウンロードできます。
- ・名前や住所などの必要事項が記入されていれば、必ずしもFAX119番通報用紙を使用する必要はありません。



② 自宅FAXから市外局番なし「119」に送信

お使いのFAX操作に従いFAX119番通報用紙をセットして、市外局番は入れず「119」番をダイヤルし送信してください。



③ 自宅FAXに「FAX119番受信確認書」が送られます

消防署が受信を確認すると、ご自宅のFAXに「FAX119番受信確認書」が届きます。万が一「FAX119番受信確認書」が届かない場合は、何らかの原因で消防署にFAXが届いていない恐れがあります。再度②の手順でFAX119番通報をしてください。



④ 消防署がFAX119番を受信、消防車や救急車が出勤します

- ・消防車が到着するまで、安全な場所へ避難してください。
- ・救急車が到着するまで、できる限り玄関の開錠をお願いします。
- ・病歴やかかりつけの病院、連絡の取れる方の情報が分かる資料などをできるだけ準備してください。

消防救助技術指導会を開催します

入間東部地区消防組合のほか近隣消防本部も参加し、救助技術の正確性と迅速性を競う、埼玉県第2ブロックの消防救助技術指導会を開催します。見学は自由です。皆さんの応援をお待ちしています。

とき/5月13日(水)午前9時
場所/東消防署消防訓練場
※駐車場はキラリ☆ふじみをご利用ください。

問合せ/消防本部総務課 ☎049-261-6004



普通救命講習会

とき/4月19日(日)午前9時～正午
場所/消防本部大講堂(ふじみ野市大井中央1-1-19)

対象/市内在住、在勤、在学の方
定員/30人(申込順)
申込み/4月6日(月)～10日(金) 午前8時30分～午後5時に電話で
問合せ/消防本部救急課 ☎049-261-6673